

令和5年10月20日
奈良市 観光経済部 観光戦略課
ダイヤルイン 0742-34-4739

第 25 回国連世界観光機関 (UNWTO) 総会への出席について

ウズベキスタン共和国サマルカンド市で開催された「第 25 回国連世界観光機関 (UNWTO) 総会」に奈良市長が出席し、プレゼンテーションを行いましたのでお知らせいたします。

記

1 総会日時（市長出席およびプレゼンテーションの日時）

令和5年10月19日（木）

サマルカンド市時間：午後1時10分（日本時間 同日午後5時10分）

2 総会開催場所 サマルカンド市内「シルクロードサマルカンド国際会議場」

3 第 25 回国連世界観光機関 (UNWTO) 総会出席の経緯

- ・UNWTO 本部はスペインマドリッドに置かれているが 2012 年から奈良市に地域事務所を設立。
- ・アジア太平洋地域で事務所が設けられているのは日本(奈良)のみ。
- ・奈良市とサマルカンド市は、2019 年(令和元年)8月 26 日に「日本国奈良市とウズベキスタン共和国サマルカンド市 両市間の都市間交流に向けた覚書」を締結し、2022 年(令和 4 年)10 月 18 日に姉妹都市提携を結んだ。
- ・ウズベキスタン共和国として、姉妹都市提携に至った都市は奈良市が初めてであり、2023 年に UNWTO 総会がウズベキスタン共和国サマルカンド市で開催されるにあたり招待された。



・本日は、第 25 回 UNWTO 総会に参加させていただき大変光栄。この機会を与えてくださった UNWTO 事務局長スラブ・ポロリカシュヴィリ閣下と、開催地であるウズベキスタン共和国ミルジョエフ大統領に厚く御礼。

・サマルカンド市と奈良市は、1300 年前からシルクロードを通じて交流があり、昨年に姉妹都市となった。奈良は 1300 年前に都があった場所であり、当時、シルクロードを通じて様々な国の文化を柔軟に受け入れ、多様性と包摂性を軸に発展。

・有名な東大寺の大仏は聖武天皇の「動物も植物も共に栄える世の中を作ろう」という考え方により作られ、これこそ、現代の SDGs に通じる考え方。

・現下の国際情勢を踏まえると、私たちは単に観光がもたらす経済的側面だけでなく、互いの文化や価値観の多様性を学び、尊敬に溢れる世界を築き上げていく必要。

・奈良市の UNWTO の駐日事務所は、アジア太平洋地域の観光の急速な成長を支援する拠点として、大きな役割を果たしており、この会合が、このような「観光の多面的役割」に光をあてる第一歩となるよう期待。

・2025 年には奈良の隣の大阪で国際万国博覧会が開催されるので、皆さまのお越しを心待ちにしている。